

パッケージエアコン

安全上のご注意 取扱説明書

空冷冷房専用／ヒートポンプ式

RDA-BP11203HS, BP14003HS, BP16003HS

RDA-BP22403HS, BP28003HS, BP33503HS

(200V-50/60Hz)

異電圧

RDA-BP11203HVS-A/D, BP14003HVS-A/D,

RDA-BP16003HVS-A/D, BP22403HVS-A/D,

RDA-BP28003HVS-A/D, BP33503HVS-A/D

(A:400V-50Hz, D:440V-60Hz)

- ご使用前に必ずこの「安全上のご注意」・「据付説明書」・「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、必ず保管してください。

- 1)この製品は地球温暖化防止のため、適正にフロン類を回収する必要があります。
製品を廃棄・整備する場合は、フロン排出抑制法に基づくフロンの回収、運搬、破壊費用が必要です。
- 2)この製品に使用されているフロン類の数量および、その地球温暖化係数は
接続されている室外機や接続室内機台数、接続配管長さにより異なります。
システム全体でのフロン類に関する数値は、室外機に表示されています。



<フロン類漏えい点検実施のお願い>

本製品を所有されているお客様は、フロン排出抑制法に基づく点検を実施してください。
“点検記録簿”には、機器を設置した時から廃棄するまでのすべての履歴を記載してください。
費用等点検に関する詳細につきましては、お買い上げの販売店または、東芝エアコン空調換気センターにお問い合わせください。
「点検記録簿」に関しては、下記サイトにありますので、ダウンロードしてご使用ください。
日本冷凍空調設備連合会のホームページ <http://www.jarac.or.jp/>






目 次

安全上のご注意	1
取扱説明書	
製品仕様	6
ユニット使用範囲	7
始動および停止	8
リモコン操作方法	9
運転のしかた	11
タイマー運転のしかた	12
故障診断	13
お手入れのしかた	14
保証とアフターサービス	15
保守点検契約について	16
定期点検/簡易点検のお願い	16

安全上のご注意







1. ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
2. ここに示した注意事項は、「△警告」、「△注意」に区分していますが、誤った取り扱いをした時に、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性の大きいものを特に「△警告」の欄にまとめて記載しています。しかし、「△注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください

記号の意味

-  **警告** 取り扱いを誤ると、使用者が死亡または重傷を負う危険が想定される場合を示します。
-  **注意** 取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を示します。
-  危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
-  禁止の行為であることを告げるものです。
-  行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

《 I. 据え付け上の注意事項 》

 警告	
据え付けは、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。	
据付工事は、この取扱説明書にしたがって確実にこなしてください。据え付けに不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。	
据え付けは、重量に十分耐える所に確実にこなしてください。強度不足や取り付けが不完全な場合は、ユニットの落下により、ケガの原因になります。	
パッケージエアコンを据え付ける際は、万一冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策をおこなってください。限界濃度を超えない対策については、お買い上げの販売店または専門業者に依頼してください。	
万一、冷媒が漏洩して限界濃度を超えると、酸欠事故につながる恐れがあります。	
台風などの強風や地震に備え、所定の据付工事をこなしてください。据付工事に不備があると、転倒や落下などによる事故の原因になります。	

⚠警告

電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気工事に関する技術基準」、「内線規定」、および取扱説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。電源回路容量不足や施工不備があると感電、火災の原因になります。



配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部に外力が伝わらないように確実に固定してください。接続や固定が不完全な場合は、発熱、火災等の原因になります。



アースを行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線等に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。



設置場所によっては漏電ブレーカの取り付けが必要です。漏電ブレーカが取り付けられていないと感電の原因になることがあります。



電圧変動の大きい場所への設置は、おこなわないでください。感電や火災の原因になることがあります。



配線用遮断器は、ユニット個々に設置してください。1 個の配線用遮断機に 2 台以上のユニットを接続すると火災や感電の原因になることがあります。



別売品は、必ず当社指定の製品を使用してください。ご自分で取り付けをされ、不備があると、感電、火災の原因になります。また、取り付けは専門の業者に依頼してください。



据付作業では運転する前に、次のことを確認してください。

- ・ 配管接続は、確実に取り付け、漏れがないこと。
- ・ サービスバルブの弁が開いていること

サービスバルブが閉まった状態で圧縮機を運転すると、異常高圧となり圧縮機などの部品の破損の原因になります。また接続部で漏れがあると空気を吸い込むなどで更に異常高圧となり破裂、けがの原因になります。



⚠注意

可燃性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行なわないでください。万一ガスが漏れてユニットの周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。



ドレン工事は、確実に排水するよう配管し、結露が生じないように保温してください。配管工事に不備があると、水漏れし、屋内に浸水し、他の設備機器や家財等を濡らす原因となる場合があります。



水質基準に適合した冷却水および冷温水を使用してください。水質の悪化は、コイル等に腐食を生じ、水漏れの原因になる場合があります。



ユニットを特殊な雰囲気（温泉地、海岸地区、油の多い所等）には設置しないでください。腐蝕等で感電や火災の原因となる場合があります。



⚠注意

電気配線をユニット間で渡ることは行なわないでください。火災の原因になることがあります。



Ⅱ. 使用上の注意事項

⚠警告

長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎないようにしてください。
体調悪化・健康障害の原因となります。



パネルを開いたまま運転しないでください。
やけどやケガの恐れがあります。



空気の吹き出し口や吸い込み口に指や棒を入れないでください。内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になります。



異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源スイッチを切り、販売店にご連絡
ください。異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。



電源スイッチやブレーカー等の入り切りによりユニットの運転・停止をしないで
ください。感電や火災の原因になります。



冷却水に水以外の熱媒を使用しないでください。
火災や爆発の原因になります。



故障や破損をしたまま運転しないでください。重大な事故につながる恐れがあり
ます。修理に不備があると感電・火災等の原因になります。



ユニットを改造しないでください。
感電・火災等の原因になります。



電気部品箱のフタを開けないでください。
感電の原因になります。



濡れた手でスイッチを操作しないでください。
感電の原因となることがあります。



燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気してください。
換気が不十分な場合は、酸欠の原因になることがあります。



エアコンの風が直接あたる場所に燃焼器具を置かないでください。
燃焼器具の不完全燃焼による事故の原因となることがあります。



長期使用で据付台等が痛んでないか注意してください。痛んだ状態で放置すると
ユニットの落下につながり、ケガ等の原因になることがあります。








ユニットを水洗いしないでください。
感電の原因になることがあります。












ユニットの上に花瓶等水の入った容器を乗せないでください。ユニット内部に浸
水して電気絶縁が劣化し、感電の原因になることがあります。





⚠警告









モータ、コンデンサ、スイッチなど電気関係部品は水に浸さないでください。故障や感電の原因になることがあります。	
ユニットのキャビネットや電装箱の蓋を外したままの運転は行なわないでください。充電部を露出した状態での運転は、感電や火災の原因になることがあります。	
電磁接触器を指で押して圧縮機等を運転しないでください。むりやり運転させると、感電・火災等の原因になることがあります。	
保護装置の設定は変更しないでください。不当に変更すると、火災等の原因になることがあります。	
万一、冷媒が漏れたときは、ストーブ等の火気を消し、床面を掃くように換気し、お買い上げの販売店・専門業者または、弊社支社店に連絡してください。不燃性・非害性・無臭性の安全冷媒を使用していますが、火気に触れると有害ガスが発生する原因になります。	



⚠注意

食品・動植物・精密機械・美術品の保存等特殊用途には使用しないでください。品質低下等の原因になることがあります。	
動植物に直接風が当たる場所には設置しないでください。動植物に悪影響を及ぼす原因になることがあります。	
掃除をする時は必ずスイッチを「停止」にして、電源スイッチも切ってください。内部でファンが高速回転しておりますのでケガの原因になることがあります。	
空気熱交換器のアルミフィンには触れないでください。触れると、ケガの原因になることがあります。	
ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしないでください。落下・転倒等によりケガの原因になることがあります。	
可燃性スプレーをユニットの近くに置いたり、ユニットに直接吹きかけたりしないでください。発火の原因になることがあります。	
正しい容量のヒューズ以外は使用しないでください。針金や銅線を使用すると火災の原因となります。	
バルブ類は、取扱説明書・据付説明書・銘板の指示に従い、全て開閉状態を確認してください。特に、保安上のバルブ（安全弁等）は運転中必ず開いてください。開閉状態に誤りがあると、水漏れや火災・爆発の原因になることがあります。	
長期間停止される場合や、冬期に使用されない場合は、水配管を不凍液で満たされるか、または、水抜きを行なってください。水を入れたままで放置されると、水漏れ等の原因になることがあります。	

⚠注意	
冷温水は飲用、給湯用には用いないでください。 健康を害する原因となることがあります。	
圧縮機や冷媒配管等の高温部には触れないでください。 高温部に触れると、やけどの恐れがあります。	

《Ⅲ. 移設・修理時の注意事項》

⚠警告	
修理は、お買上げの販売店にご相談ください。 修理に不備があると、水漏れや感電、火災等の原因になります。	
改造は絶対に行なわないでください。 水漏れや感電、火災等の原因になります。	
ユニットを移動再設置する場合は、お買上げの販売店または専門業者にご相談ください。 据え付けに不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。	
冷媒や冷凍機油の種類を間違えないでください。 火災・爆発の原因となることがあります。	
保護装置を短絡して、強制的な運転を行なわないでください。 火災や爆発の原因となることがあります。	
保護装置の設定は変更しないでください。 火災等の原因となることがあります。	
冷媒の溶栓をハンダ付けしないでください。 規定外の溶栓を使用されますと、爆発の原因となることがあります。	
屋内で修理される場合は、換気に注意してください。換気が不十分な場合、万一冷媒が漏洩すると酸欠事故につながる原因となることがあります。	

⚠注意	
ブラインや洗浄液等の廃棄は、法の規定に従って処分してください。違法に廃棄すると法に触れるばかりでなく、環境や健康に悪影響を与える原因となることがあります。	
フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。 この製品を廃棄・整備する場合には、フロン類の回収が必要です。	

製品仕様

室内ユニットと室外ユニットの組合せご確認

室内ユニットと室外ユニットの組合せは下表に示す通りですのでご確認ください。

■ 室内ユニットと室外ユニットの組合せ表

表-1 製品組合せ表
(特殊仕様の場合、型番末尾の記号が変わる場合があります)

室内ユニット	室外ユニット (冷房専用)	室内ユニット	室外ユニット (ヒートポンプ)
RDA-BP11203HS(HVS-A/D)	ROP-BP11202S(VS-A/D) x1	RDA-BP11203HS(HVS-A/D)	ROP-BP11202HS(HVS-A/D) x1
RDA-BP14003HS(HVS-A/D)	ROP-BP7102S(VS-A/D) x2	RDA-BP14003HS(HVS-A/D)	ROP-BP7102HS(HVS-A/D) x2
RDA-BP16003HS(HVS-A/D)	ROP-BP8002S(VS-A/D) x2	RDA-BP16003HS(HVS-A/D)	ROP-BP8002HS(HVS-A/D) x2
RDA-BP22403HS(HVS-A/D)	ROP-BP11202S(VS-A/D) x2	RDA-BP22403HS(HVS-A/D)	ROP-BP11202HS(HVS-A/D) x2
RDA-BP28003HS(HVS-A/D)	ROP-BP8002S(VS-A/D) x2 ROP-BP11202S(VS-A/D) x1	RDA-BP28003HS(HVS-A/D)	ROP-BP8002HS(HVS-A/D) x2 ROP-BP11202HS(HVS-A/D) x1
RDA-BP33503HS(HVS-A/D)	ROP-BP11202S(VS-A/D) x3	RDA-BP33503HS(HVS-A/D)	ROP-BP11202HS(HVS-A/D) x3

表-2 製品仕様表

機種	RDA-BP	11203型	14003型	16003型	22403型	28003型	33503型
運転質量 (kg)		470	520	800	1250	1630	1690
冷媒		R410A					
地球温暖化係数		2090					
送風機		シロッコファン(ベルト駆動)					
風量 (m ³ /min)	最小	268	355	430	570	720	860
	標準	340	420	510	680	850	1020
	最大	390	485	590	790	980	1180
騒音値	音響パワーレベル* (dB (A))	84/86	86/88	89/91	91/93	92/94	93/95
	音圧レベル (dB (A))	65/67	67/69	70/72	73/75	74/76	75/77
標準ファンモータ出力 (kW)		5.5	7.5	11	15	18.5	30
冷媒配管接続		ろう付接続					
ガス側接続径 (mm)		φ38.1	φ31.75x2	φ38.1x2	φ38.1x2	φ38.1x3	φ38.1x3
液側接続径 (mm)		φ22.22	φ19.05x2	φ19.05x2	φ22.22x2	φ19.05x2 φ22.22x1	φ22.22x3
ドレン配管接続口		PS32 ^{1/2}	PS32 ^{1/2}	PT40 ^{1/2} PT20 ^{1/2}	PT40 ^{1/2} PT20 ^{1/2}	PT40 ^{1/2} PT20 ^{1/2}	PT40 ^{1/2} PT20 ^{1/2}

*印はJRA4002:2013Rでの表示です。

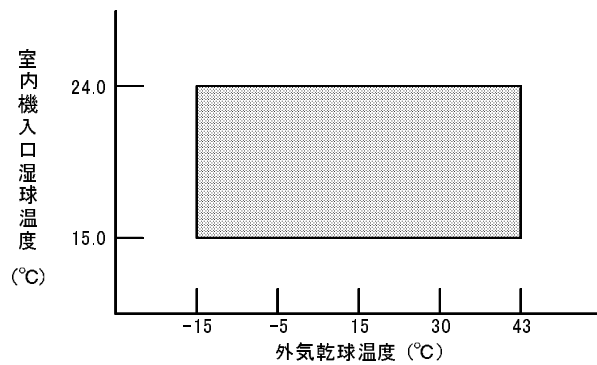
ユニット使用範囲

以下の使用条件範囲内でご使用ください。使用条件範囲外で使用されると、ユニット故障の原因となり、保証の対象とはなりません。

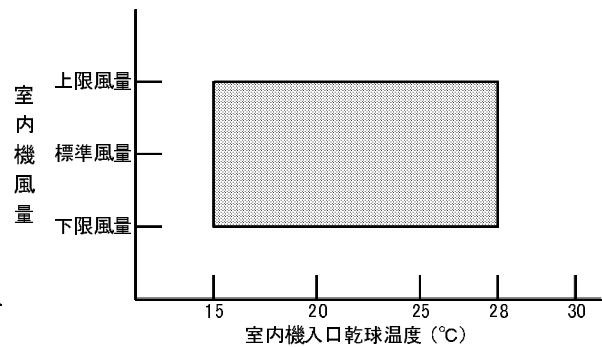
● 使用範囲

冷媒配管の設計は配管距離、ユニットの位置関係を考慮して決定してください。決定に当っては、技術資料の「冷媒配管について」の項を参考にして、配管レイアウトを検討してください。

- 電源電圧 定格の±10%以内
- 相間バランス 電圧で±2%以内 電流で±10%以内



冷房運転使用範囲



暖房運転使用範囲（ヒートポンプ機のみ）

冷 房	室内機入口湿球温度	15～24℃WB
	外 気 温 度	－15～43℃DB
暖 房	室内機入口乾球温度	15～28℃DB
	外 気 温 度	－15～24℃DB 18℃WB 以下

始動および停止

電源スイッチやブレーカーの入り切りによりユニットの運転・停止をしないでください。

(1) 短期間の運転停止

- ① 日常的な運転停止は、リモコンの操作で行ってください。
- ② 決してユニットの元電源は切らないでください。クランクケースヒータの通電を続けるためです。

(2) 長期間の運転停止

長期間運転を停止する場合、次の手順に従ってください。

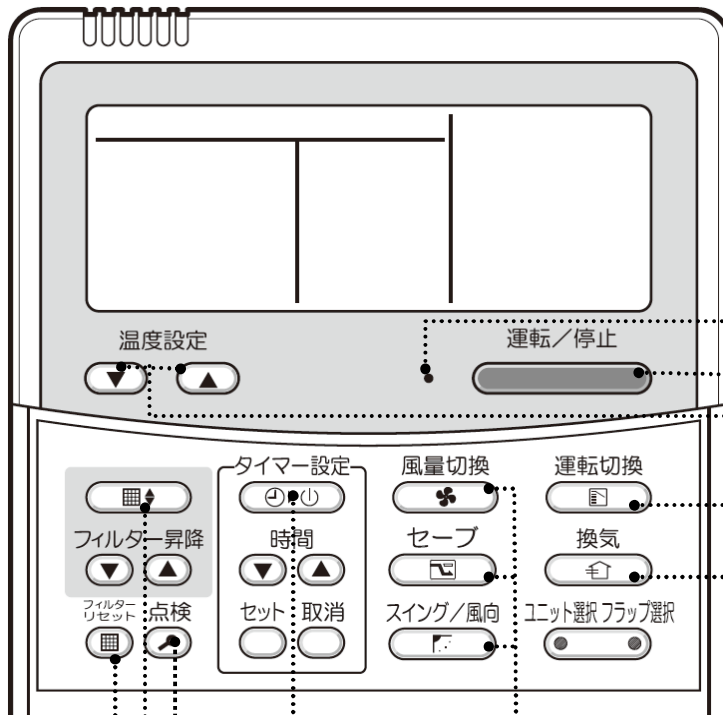
- ① まず、リモコンでユニットを停止させてください。
- ② 次に、ユニットの電源スイッチを切ってください。

(3) ユニット運転上の注意

ユニット運転にあたって、少なくとも 12 時間前にユニットに電源を入れて、クランクケースヒータによる冷凍機油の加熱を行ってください。冷凍機油の加熱を怠ると、ユニット始動時にオイルのフォーミング現象を起こし、圧縮機の損傷につながります。したがって、始動運転時には最低 12 時間前にユニットに電源を入れておくことと、日常的な運転停止時には、ユニット電源は切らずにおき、“運転／停止” ボタンにて行なう必要があります。

リモコン操作方法

操作部 ●一度運転内容を設定すると、その後は運転／停止ボタンを押すだけでご使用になれます。



運転ランプ

運転中に点灯します。
異常時、保護装置動作時は点滅します。

運転／停止ボタン

ボタンを押すとまもなく運転、もう一度押すとまもなく停止します。

温度設定ボタン

設定温度を調整します。
▼▲を押してお好みの設定温度に合わせます。

運転切換ボタン

運転モードを切り換えるときに押します。

換気ボタン

本ユニットでは使用しません。

風量切換ボタン

本ユニットでは使用しません。

スイング／風向ボタン

本ユニットでは使用しません。

ユニット選択ボタン

ユニットを選択するときに使用します。

フィルターリセットボタン

「フィルター」表示をリセット（消灯）します。エアフィルターの掃除が終わりましたら、このボタンを押してください。

フィルター昇降ボタン

本ユニットでは使用しません。

点検ボタン

サービス時に使用します。
※通常は使用しないでください。

タイマー設定ボタン

タイマー設定時に使用します。

リモコンセンサー

通常は室内ユニットの温度センサーが温度を感知していますが、リモコン周辺の温度を感知させることもできます。詳しくは、お買いあげの販売店にご相談ください。

※グループ制御時は設定しないでください。

表示部 表示例は説明のためすべて表示してあります。実際は選択した内容の表示となります。

●漏電ブレーカーを最初に入れたとき、リモコンの表示部に **設定中** が点滅します。

この表示中は自動機種確認中ですので **設定中** が消えた後リモコン操作を行ってください。

運転切換表示

運転モードを表示します。

設定中表示

タイマー設定中等に表示します。

タイマー時間表示

タイマー時間を表示します。
(異常時には点検コードを表示します)

点検表示

保護装置動作時および異常時に表示します。

集中管理中表示

集中管理リモコンなどと組み合わせてご使用の場合に表示します。

集中管理側でリモコン禁止を設定している場合、運転／停止・運転切換・温度設定のボタンを操作したとき **集中管理中** が点滅し、変更を受けつけません。

(集中管理モードにより、リモコンで設定出来る内容が異なります。詳しくは集中管理リモコン取扱説明書をご確認ください)

ユニット No 表示

ユニット選択ボタンで選択されている室内ユニットや異常表示をしている室内・外ユニットのユニット No を表示します。

設定温度表示

選択した設定温度を表示します。

フラップ位置表示

本ユニットでは使用しません。

運転切換管理中表示

エアコンの管理者によって運転モードが冷房または暖房に固定されているときに「運転切換」ボタンを押すと表示されます。

リモコンセンサー表示

リモコンセンサー使用時に表示します。

運転準備表示

機種によって表示する場合があります。

機能なし表示

ボタンを押しても機能がないときに表示します。

暖房準備表示

暖房運転開始時または除霜運転時に表示します。
表示中は室内送風機が停止、または送風運転になります。

換気運転表示

本ユニットでは使用しません。

風量切換表示

本ユニットでは使用しません。

フィルター表示

この表示が点灯したら、エアフィルターの掃除をしてください。

昇降グリル表示

本ユニットでは使用しません。

タイマー設定表示

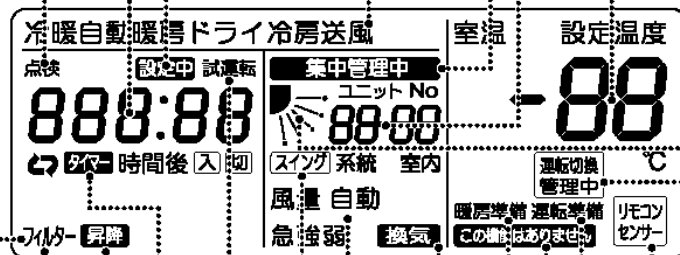
タイマー設定ボタンを押すと、
[切]切タイマー→[ON]繰り返し切タイマー→[入]入タイマー→表示なしの順に切り換わります。

試運転表示

試運転中に表示します。

スイング表示

本ユニットでは使用しません。



運転のしかた

はじめてお使いのときや設定を変えるときは、次の手順で操作してください。
次回から運転／停止ボタンを押すだけで操作した設定内容の運転を開始します。

準備

漏電ブレーカーを入れる

- ・電源が入ると、リモコン表示部に仕切線が表示されます。
- ※電源が入ったあと、約1分間はリモコンが操作を受けつけませんが、故障ではありません。

お願い

- ・使用期間中は漏電ブレーカーを切らないでください。
- ・長期間停止後／運転開始をするときは、**12時間以上前**に漏電ブレーカーを入れてください。

1 **運転／停止** を押して運転する

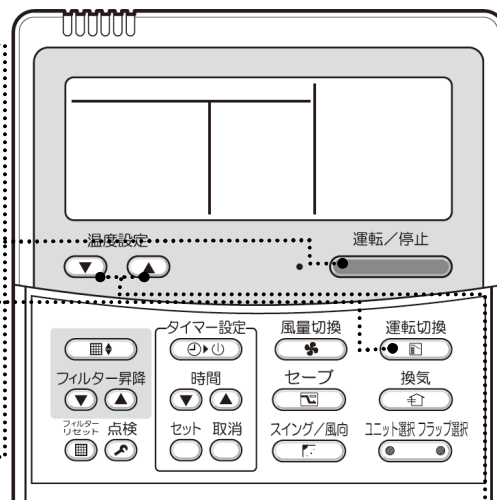
- 運転ランプが点灯します。

2 **運転切換** を押して「運転の種類」を選ぶ

- ボタンを押すたびに運転表示が変わります。
- 冷暖自動 → 暖房 → ドライ → 冷房 → 送風 →
- マルチシステムの場合冷暖フレックスのみ「冷暖自動」表示選択可能です。（本ユニットでは表示しません。）
 - 本ユニットには「ドライ」機能はありません。

3 **運転／停止** を押して運転を止める

- 運転ランプが消えます。



温度を変えるとき

温度設定 を押して選ぶ

- ▲**を押すと温度があがり、**▼**を押すと温度が下がります。（送風時は温度の設定ができません。）

- 温度センサーが感じる温度は、室内ユニットの吸込口付近の温度ですので、据付状態により室温とは多少異なります。設定温度は目安としてください。
- 暖房運転の場合は、停止後 30 秒ほど送風運転を続ける場合があります。
- 暖房自動運転の場合、設定温度に対して室温との差が大きくなります。

タイマー運転のしかた

3つのタイマーの種類が選べます。(168時間までの設定ができます)

切タイマー

繰り返し切タイマー

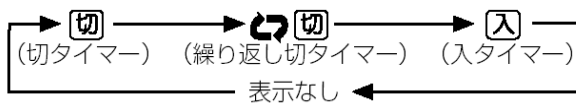
入タイマー

設定時間になると運転を停止します。 毎回、設定時間後運転を停止します。 設定時間になると運転を開始します。

タイマー運転のしかた

1 タイマー設定を押す

- ボタンを押すたびにタイマーの表示(種類)が変わります。



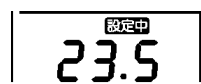
- 設定中と時間表示が点滅します。

2 時間を押して「設定時間」を選ぶ

- を押すごとに設定時間を0.5時間(30分)単位で増加します。1d(24時間)以上は1時間単位で増加します。上限は7d(168時間)です。
- リモコンの表示は0.5時間から23.5時間(*1)までは設定時間の数字です。
- 24時間以上(*2)は日数と時間で表示します。
- を押すごとに設定単位を0.5時間(30分)単位(0.5時間から23.5時間)または1時間単位(24時間から168時間)で減少します。

リモコンの表示例

- 23.5Hの場合(*1)



- 34Hの場合(*2)

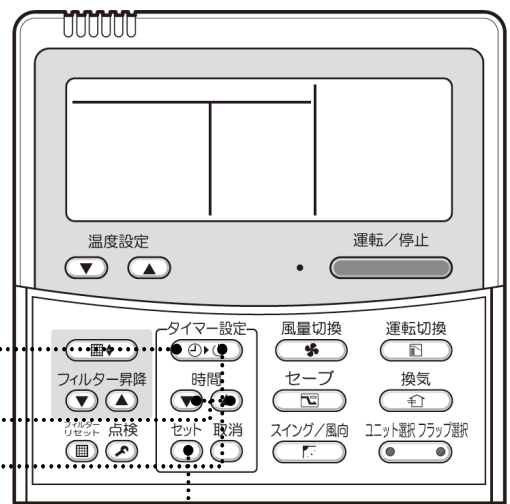


1d は1日(24時間)を表わします。

10h は10時間を表わします。
(合計 34 時間)

3 セットを押す

- 設定中が消えて時間表示が点灯し、またはが点滅します。
(入タイマーのときは時間表示、タイマー時間後以外の表示が消灯します。)



お知らせ

- 繰り返し切タイマーは、設定時間後に運転を停止したあと、再びを押すと運転を再開し設定時間後運転を停止します。

タイマー運転取り消しのしかた

取消を押す

- タイマー表示が消えます。

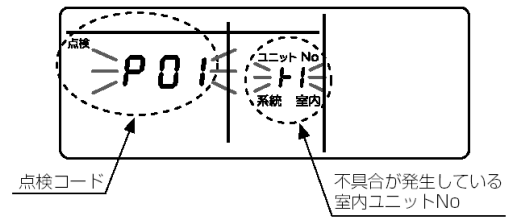
故障診断

確認と点検

エアコンに不具合が発生した場合、リモコン表示部に点検コードと室内ユニットNoが表示されます。

点検コードは、運転中にのみ表示されます。


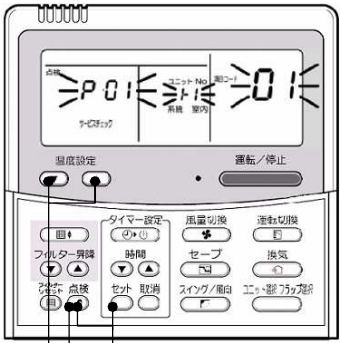
表示が消えてしまった場合は、下記の『故障履歴の確認』に従って操作し確認してください。



故障履歴の確認

エアコンに不具合が発生した場合、以下の手順で故障履歴を確認できます。（故障履歴は4つまでメモリされます。）

運転および停止状態のどちらからでも確認できます。

手順	操作内容
①	<p>「セット」＋「点検」ボタンを4秒以上同時に押すと、しばらくして表示部が図のように表示されます。表示部に「サービスチェック」が表示されると、故障履歴モードに入ったことを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目コードに、「01：故障履歴の順番」が表示されます。 ・点検に「点検コード」が表示されます。 ・室内ユニットNoに「不具合が発生した室内ユニットアドレス」が表示されます。 
②	<p>温度設定の「▼／▲」ボタンを押すごとに、メモリされている故障履歴が順番に表示されます。</p> <p>項目コードは、項目コード「01」（最新）…→項目コード「04」（一番古い）を示します。</p> <p>お願い</p> <p>「取消」ボタンを押すと、室内ユニットの故障履歴が全て消去されますので、押さないでください。</p> 
③	<p>確認できたら「点検」ボタンを押して通常表示に戻ります。</p>

お手入れのしかた 保守と点検

- エアフィルタ

エアフィルタは月 2 回程度の割合で定期的に清掃を行ってください。フィルタの目詰まりは風量を低下させ場合によっては圧縮機の故障となります。

《フィルタの清掃方法》

フィルタは洗剤水溶液ですすぎ洗いをするか、掃除機により汚れを吸い取ってください。

エアフィルタ清掃後に、リモコンのフィルターリセットボタンを押してください。

- ベアリング

15,000 時間程度を目安に点検し、必要であれば補給してください。但し、使用条件によって補給する頻度は変わります。また、回転音に異常がある場合は、交換してください。給油するグリースは、弊社指定のもの（アルバニア NO. 2, 3, S 3）を使用し、右表の量を目安に充填してください。指定以外のグリースは使用しないでください。

グリース標準補給量 (g)	プーリ側	反プーリ側
RDA-BP11203 型	4.4	4.4
RDA-BP14003 型	4.4	4.4
RDA-BP16003 型	17	17
RDA-BP22403 型	6.8	6.8
RDA-BP28003 型	6.8	6.8
RDA-BP33503 型	6.8	6.8

- V-ベルト

V-ベルトの張りが弱いとスリップしたり摩耗したりします。必要に応じて点検し、張りの調整を行なうとともに、摩耗がひどいときはベルトを交換してください。

V-ベルトはレッドベルト (高抗張力ベルト) を使用してください。

V-ベルトが新しい場合初期伸びが発生しますので、約 1 ヶ月後に再調整が必要です。

- ドレンパン

ドレンパンの上にゴミ等がたまり、ドレン配管を詰まらせると室内側に水があふれることがあります。定期的に点検し、ドレンパン上のゴミ等を取り除いてください。

- 短期間の運転停止

日常の運転停止は、クランクケースヒータ通電を続けるため、室外ユニットの電源は絶対に切らないでください。

- 長期間の運転停止

長期間運転を停止する場合には以下の手順に従ってください。

1. 室内ユニットを停止してください。
2. ユニットの電源を切ってください。

- 長期運転停止後の始動

長期運転停止を行った後は、試運転の場合と同じ方法で運転を再開してください。

保証とアフターサービス

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談やご不明な点はお買い上げの販売店または弊社支社店にご相談ください。
なお、所在地は裏面をご参照ください。

補修用性能部品の最低保有期間

パッケージエアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後 9 年間です。

この期間は、家庭電気製品の通産省の指示に準じています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

保証期間

パッケージエアコンの保証期間は、お買い上げ後 1 年間です。

修理を依頼されるときは

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、電源を切ってからお買い上げの販売店または弊社支社店にご相談ください。

修理には、専門の技術が必要です。

保証期間中は

お買い上げの販売店または弊社にて保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すればご使用できる場合にはご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	パッケージエアコン
形名	
製造番号	
お買上げ日	年 月 日
故障の状況	
ご住所	
電話番号	
訪問希望日	
お買上げ店名	
電話番号	

お買上げ店名を記入されておくと便利です。

修理料金の仕組み

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品の代金です。
出張料	商品のある場所に技術者を派遣する料金です。
材料費	修理に使用した材料の代金です。
運搬費	部品の運搬するための料金です。
その他	上記以外で修理にかかる料金です。(破棄費・撤去費等)

保守点検契約について

製品の機能を、いつも完全に機能させるためには正しくご使用いただくと同時に、定期的な保守点検が必要です。据付工事業者の方または、お買い上げの販売店・弊社支社店とご相談の上、是非保守点検契約する事をお奨め致します。

- パッケージエアコンをいつまでも最良の状態でお使いいただくために
お手入れの良し悪しで、パッケージエアコンの寿命や働きに大きな差が生じます。
弊社では、特に弊社パッケージエアコンご愛用者のために、お手数のかからない便利なメンテナンス（保守手入れ）を実費でお引き受けしております。
- 専門の技術員が完全にお手入れいたします。
シーズン中の定期的な巡回サービス、シーズン前後のお手入れを、専門の技術員によって実費でお引き受けしております。
- お申し込み、お問い合わせは……
お買い上げの販売店またはお近くの弊社支社店にご連絡ください。詳しくご説明いたします。

保守サービスのご用命は

据付年月日	年 月 日
お買上げ店名	
据付工事店名	

定期点検/簡易点検のお願い

本製品を所有されているお客様は、フロン類排出抑制法により定期点検と簡易点検が義務付けられています。定期点検は、下表の通り「圧縮機電動機定格出力」の値によって点検頻度が異なりますので、取扱説明書の「仕様」に記載している値を参照して専門業者に依頼してください。

圧縮電動機定格出力	定期点検頻度
7.5kW 以上 50kW 未満	3年に1回以上
50kW 以上	1年に1回以上

簡易点検は、四半期に1回以上、下記内容にそってお客様が実施されるか、また専門業者へ依頼してください。

簡易点検項目	
室外機点検	・機器の異常振動・異常運転
	・機器および機器周辺の油のにじみ
	・機器の傷の有無、熱交換器の腐食、錆など
室内機点検	・熱交換器の霜付の有無

点検は、安全で安易に目視ができる場合を除いて、危険な場合は専門業へ依頼してください。

また、「冷えが悪くなった」「エアコンが効かなくなった」などの状況になりましたらこれらの点検を行うとともに専門業へ問い合わせてください。

「簡易点検」に関しては、下記サイト内の検索で「簡易点検の手引き」を検索してからダウンロードして詳細を確認してください。

環境省ホームページ <http://www.env.go.jp/>

お問い合わせは下記へどうぞ。

TOSHIBA
Carrier

東芝キャリア株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町 72 番地 34
<http://www.toshiba-carrier.co.jp>

■東芝キャリア株式会社

本社：〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町 72 番地 34

- 神奈川営業所 TEL 045-662-1048
- 東関東営業所 TEL 043-247-1261

● 東北支社

〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町 2-2-1 TEL 022-237-4021

- 福島営業所 TEL 024-933-1622
- 山形営業所 TEL 023-625-5257
- 岩手営業所 TEL 019-636-4121
- 青森営業所 TEL 017-777-1861
- 秋田営業所 TEL 018-864-7315

● 関信越支社

〒330-0835 埼玉県さいたま市大宮区北袋町 1-318 みづほビル TEL 048-658-1048

- 群馬営業所 TEL 027-363-3181
- 栃木営業所 TEL 028-636-5161
- 新潟営業所 TEL 025-241-8080
- 長野営業所 TEL 026-221-3890

● 中部支社

〒451-8502 愛知県名古屋市中区西 2-33-10 東芝名古屋ビル TEL 052-529-1931

- 岐阜営業所 TEL 058-277-0620
- 三重営業所 TEL 059-229-8301
- 静岡営業所 TEL 054-273-4580
- 浜松営業所 TEL 053-451-2550

● 北陸支店

〒920-0024 石川県金沢市西念 3-32-7 TEL 076-231-7100

- 富山営業所 TEL 076-441-5531
- 福井営業所 TEL 0776-26-1821

● 関西支社

〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町 1-11-7 信濃橋三井ビル 7F TEL 06-7175-9506

- 京滋営業所 TEL 075-691-5688
- 和歌山営業所 TEL 073-422-5910
- 神戸営業所 TEL 078-231-3190
- 姫路営業所 TEL 079-298-2206

● 中四国支社

〒730-0017 広島県広島市中区鉄砲町 7-18 東芝フコク生命ビル 4F
TEL 082-577-1070

- 岡山営業所 TEL 086-235-1340
- 山口営業所 TEL 0834-32-0326
- 山陰営業所 TEL 0852-22-1836
- 四国支店 TEL 087-821-0141
- 松山営業所 TEL 089-900-1888
- 高知営業所 TEL 088-845-2280
- 徳島営業所 TEL 088-626-2421

● 九州支社

〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜 2-4-1 東芝福岡ビル TEL 092-735-3471

- 北九州営業所 TEL 093-582-1002
- 長崎営業所 TEL 095-847-7225
- 大分営業所 TEL 097-553-1048
- 熊本営業所 TEL 096-370-4450
- 宮崎営業所 TEL 0985-29-7711
- 鹿児島営業所 TEL 099-257-6222
- 沖縄支店 TEL 098-879-2011

● 北海道支店

〒063-0814 北海道札幌市西区琴似 4 条 2-1-2 コルテナ II TEL 011-624-1141

● この取扱説明書は平成 27 年 6 月現在のものです。 ● この取扱説明書に掲載の仕様は改良のため予告なしに変更することがあります。